

内外交差点

私たちが皆さんと一緒に書いているのは 祖国への愛の物語です

大岡 理人氏（南タクシー社長） 第7/12回

昨年の今頃、家族数人で中山道を数キロほど歩いた。江戸時代を代表する幹線道路であるが、馬車用ではなく駕籠用だ。石畳の馬車路にすれば地方の敵に速攻される。だから徳川家康は舗装しなかった。技術革新が進めば強敵を生む。用心深い家康は速度だけでなく技術も拒否。その路線は代々受け継がれ安定時代260年の礎を築いた。ゆえに安定重視の経営者が尊敬する人物としてよく名が挙がる。

2026年のNHK大河ドラマは、豊臣兄弟。私は大阪市の真田山で育ったので幸村や秀吉は大好きだが、何と言っても織田信長。その存在「前・後」で世界観を変える偉業の数々。仏門の武装解除、專業兵士の編成、楽市楽座など。中でも敬愛するのは、民意第一主義で女性や家族を尊重したことだ。家族で住めば絶対に火事など起こすまい。地震に強く湿乾調整に優れるが耐火ゼロの木造住宅。当時は物凄く火事が多かったが信長領では不始末火事は一切無かった。現代の信長といえばプーチン大統領か。彼は「真の家族とは子どもたちが成長し、両親への関心、温かさ、気遣い、互いの愛と尊敬が支配する家族、祖国への献身も家族への愛情から。それぞれ家族史こそ巨大で美しい、愛する祖国の歴史。私たちは一つの大きな家族」という国家観を持つ。北朝鮮でも家庭は国家の生活単位。単身や離婚は社会の細胞形成に係わる大問題という意識を国民が持つ。マッチョな中南米もそうだが、こういった国ではLGBTを理解せずに排除する。個人ではイーロン・マスク氏。多数の差別発言でも有名だが、「誰もハリスを暗殺しようとしなさい」などと平気で言う。テスラの人気や株価が下がろうとお構いなし。マスク氏はイタリア・メローニ首相と昵懇の仲になるなどメディア恰好的だ。両氏の根底には強烈な愛国心があり、両氏とも日常的に愛国心を鼓舞している（本稿の表題はメローニ政権のスローガン）。

普段から愛国心のアも言わない政治家が、選挙のときだけ愛国心と言っても全く響かない。鈴木宗男・参院議員は「ロシアが勝利する」と言っただけで日本維新の会を除名と言われ自ら離党した。「死んでくださ

い」という芸人の発言も大炎上した。日本では不吉なことを言うな、立場を考えるとという空気が強い。言霊信仰もある。原発誘致のとき提供側は「事故

が起きたら、こうなる、ああなる、避難方法は…」という説明を住民にしなかった。少しでもしたら、交渉決裂。だから「神話レベルの安全性」に終始する。

高校の同級生である政治学者の中島岳志は常々、「インドの時代が来る！」と言っていた。インドは男尊女卑の世襲内婚制で、水害等で弱者が簡単に死亡する。失業率上昇、中国との緊張関係など内憂外患の度合いが高い。超格差社会だが来年にはGDPで日本を超える。名前だけ似て非なる国、インドネシアはどうか。毎年5%の経済成長を維持する、見過ごされた巨人と言われる国だ。RSの普及でタクシー会社数が3分の1になった代わりに資産家が月1万ルピア（平均月収の3分の1）で車両を貸し付ける事業が横行している。最近、インドネシアは一極集中や交通渋滞をさけるため首都を移転した。約3億人の人口は21世紀後半には5億人になる。国民の平均年齢は30歳！信じられないくらい若い。今後日本への移民はインドネシアが最多となり、特定技能でタクシードライバーも増えるであろう。明るくてフレンドリーな国民は大歓迎だ。

トランプ・米大統領候補やマスク氏を筆頭に移民排除派はSNSで盛んに「移民被害」を誇張する。かつて（あるいは現在も）虐げられた国からの移民なのでさもありなんだが、日本は東南アジアにODAなど親切の種を沢山まいてきた。恩返しで日本に来る移民と、私恨をどこかに持って欧米に渡る移民を同列に語ってはならないだろう。インドネシアは自国の液化天然ガスの輸出を禁止した。それだけ内需拡大しているからだ。日本はインドネシア移民を積極的に受け入れ、武器を輸出して、インドには原発を輸出したい。

露ウ・中東での戦争、世界規模（分かっているだけで年間1500億ドル）の人身取引売買（戦争起因もあり、被害者数で見ても奴隷貿易時代より悪化！）、独裁マッドマン（狂人）の台頭、異常気象——など、今、世界は焦眉之急な混迷の隘路にある。読者諸氏には“Sound of freedom”という現在劇場公開中の人身売買実話映画をぜひご覧いただきたい。一人ひとりが悲劇・惨劇・禍難の語り手になるためにも。

